

県民のあゆみ

2024

11

令和6年11月号

山形県広報誌
令和6年11月号

県民のあゆみ

No.642

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



どうなってるの!?

こうぞくどうろ 高速道路のトンネル工事

おおやま 大きな山を貫くトンネルは どうやってつくっているの?

さいしん 最新技術を活用しながら、安全・安心な工事をしています。

かたし 私たちが、早く、快適に、車で移動できる高速道路。真室川町の県境近くでは、将来、東北中央自動車道の一部になる「真室川雄勝道路」(長さ7.2キロメートル)の工事が進んでいます。なかでも、山間部に欠かせないのがトンネルです。雪に強い道路を目指す真室川雄勝道路は、6割がトンネルの区間です。現在工事中の「新及位トンネル」は、長さ約1.1キロメートルを約2年半の期間をかけてつくります。工事は、①ドリルジャンボと呼ばれる大きな機械と火薬を使って山の岩を砕く、②土砂をトンネルの外に出す、③鉄の骨組みやコンクリートなどでトンネルの壁を補強する、という作業を繰り返し、1日当たり約3~4メートルのペースで掘り進めます。とても危険な工事を安全に、正確に行うためには、高い技術が必要です。全国から集まったトンネル工事の達人たちが、AIや自動操縦などの最新技術を活用しながら、慎重に掘り進めています。



山の岩に火薬をつめる穴をあけるドリルジャンボ



AIにより爆破ポイントを決定



国土交通省山形河川国道事務所 新庄国道維持出張所専門官 高田 教継 さん

真室川雄勝道路の整備により、国道と高速道路のWネットワークで雪に強い交通網となります。また、山形・秋田間の移動時間の短縮や観光の拡大が期待されています。現場見学もできますので、詳しくは、山形河川国道事務所のホームページをご覧ください。



作業員の健康を守るために



土砂をかき出す力持ちのホイールローダー。土砂は、道路の盛り土などに利用します。



使った水をきれいにする装置。作業に使った水は、特別な装置できれいな水にして川に流します。現場近くの環境も守りながら工事を進めています。



トンネル工事を支える最新技術! 山の重みなどで生じるトンネルの小さなゆがみや、作業機械の状態、気象予報などをリアルタイムで確認し、安全で正確な工事を行っています。

ここに広告を載せませんか?

県民のあゆみは発行部数約40万部、県内市町村広報紙とともに広く配布アンケート調査では回答者の41.6%が情報収集に利用しています(※)

※令和5年度山形県広報効果に関するインターネットアンケート調査より

◎掲載料: 1枠300,000円(税込)
中面のページ1枠 200,000円(税込)
◎問合せ: 県広報広聴推進課 ☎ 023-630-2089

県ホームページのバナー広告も募集中!
◎掲載料: 1枠50,000円/月



- 特集1 企業のバトンを次世代につなぐために **P.02**
- 特集2 こどもや若者の声を県政に **P.04**
- 特集3 県職員の給与の状況 **P.05**
- 奏であう人 **P.08** / 潜入レポート! **P.16**

1748年創業、現在は防災用品や日用雑貨の販売などを行う有限会社西谷のお二人。社長の西谷真一さんから、取締役であり娘の西谷友里さんへと、今後事業承継をする準備を進めていく予定です。(撮影場所:有限会社西谷)

表紙の今月の